

SEKISUI ステンレスペランダ用ものほし台 **スタンドポール® DSL-30** 取扱説明書

このたびは、セキスイステンレスペランダ用ものほし台をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用に際しましては、**△注意**事項をお守りいただき、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。この「取扱説明書」は、大切に保管してください。

Lot No.

部品表 *部品の名称と数量をまずご確認ください。

部品名	数量	部品名	数量
①支柱-上	2	⑤圧着板	4
②支柱-下	2	⑥蝶ネジ	2
③竿かけ-小	4	⑦丸ネジ	6 セット
④竿かけ-大	2	⑧板ナット	

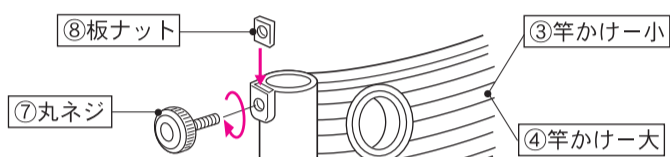
組立てかた

△注意

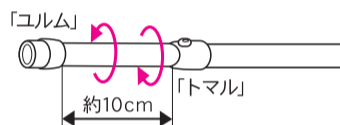
- パイプの端面などで手や足をケガないように注意して組立ててください。(端面に手などを触れないでください。)
- 蝶ネジの先端はキリ状になっていますので、先端で指などをケガされないよう、十分にご注意ください。
- 組立てる際には、手袋を着用してください。

※⑧板ナットを⑦丸ネジからはずしておきます。

1 ③竿かけ-小、④竿かけ-大の溝に⑧板ナットを挿入し⑦丸ネジを軽くネジ止めしてください。(6箇所)

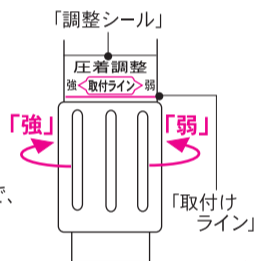


2 ①支柱-上のマスキングテープをとり、端の成型品を「ユルム」の方向にまわしてから引っ張って「細いパイプ」を10cm程引き出し図のように「トマル」の方向にまわして軽くとめます。



※圧着調整ネジは……

- ①「弱」の方向にまわし過ぎると、からまわりする構造になっています。からまわりするようであれば、圧着調整ネジを引っ張りながら「強」の方向にまわせば、からまわりは解消されます。
- ②「強」の方向にまわし過ぎると抜けますので、抜けた場合は、「弱」の方向にまわしてネジ込んでください。



3 1で⑦丸ネジをセットした③竿かけ-小④竿かけ-大を①支柱-上に図のように挿入し、⑦丸ネジで軽くネジ止めます。

4 ②支柱-下の「圧着調整ネジ」をまわし「圧着調整ネジ」の端を「調整シール」の「取付ライン」にあわせませう。

5 ②支柱-下に①支柱-上を奥までしっかりと差込みます。

6 ⑤圧着板を①支柱-上、②支柱-下にパチッと奥まで確実に差込みます。

△注意

- ご使用前に必ず完成図通りに組立てられているか確認し、各部を点検してからご使用ください。ご使用前・ご使用中に異状に気づいた場合は、ご使用にならないで下記「お客さま相談室」までお問い合わせください。
- 本製品は、洗濯物用のものほし台ですので、他の用途にはご使用にならないでください。
- 製品に急激な力をかけたり、ぶらさがったり、引っ張ったり、乗ったりしないでください。落下や転倒によりケガをしたり、物を破損する恐れがあります。(特にお子さまにご注意ください。)
- ストーブなど火気のそばでは使用しないでください。
- 取付け後2~3日後に、しっかりと取付けられているか確認し、弱い時は、圧着調整ネジを「強」の方向に回して取付け強度をアップしてください。また、定期的にポールを引張って、取付け強度を確認してください。
- 作業中にポールを無理に引張ったり、強く当たったりするとポールが取付け面からズレ、倒れる場合も予想され大変危険ですので、ご注意ください。(特にマンションのベランダ等では) また、定期的にポールが真直ぐに取り付いているか確認し、斜めになっている時は、付け直してください。
- 長期の使用により、成型品にひび割れ等の劣化が生じた場合は、強度が不足して危険ですので、ご使用にならないでください。また、ステンレスパイプに割れが発生した場合は、大変危険ですので、直ちに使用を中止してください。
- 台風の日など風の強い時には使用せず、竿はとりはずし、床などに置いてください。(特に中高層住宅のベランダなど) また、風の強い時は竿が竿かけからはずれないように注意してください。
- 竿のかわりにものほしロープを使用しますと倒れる場合がありますので使用しないでください。
- 竿や洗濯物の落下にご注意ください。
- かけられる重さは、全体で約20kgまでです。(竿1本あたり約10kgまで)全体にバランス良くほしてください。
- かけられる重さは、取付け高さ・取付け幅・壁面の状態・取付け方によって低くなる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品は天井と床に圧着固定しますので、プラスチック製の床や天井の場合、材質によっては、圧着面についているゴムの内容物の析出や移行により、変色や変質を起こす場合がありますので、取付け後2~3日後に取付け面をご確認ください。変色や変質がみられる場合は、あて板をして圧着固定してください。尚、取り外した後に、天井と床の材質によっては、変色や跡が残る場合がありますのでご了承ください。

△取付け前の注意

- ポールは、天井と床にパネで圧着取付けしますので、取付ける天井面は、コンクリートや梁(横桟)などしっかりした場所をお選びください。
- ボードなど軟らかい材質面の場合には、天井が破損する恐れがありますので、必ず桟のある位置に取付けてください。
- 和室の天井は、破損したり、変形して止まらないことがありますので、取付けしないでください。
- ペランダの場合、取付け位置は、万一竿などが落下すると危険ですので、必ず手すりの内側に十分に余裕をもたせて取付けてください。
- 傾斜した天井・床には取付けしないでください。
- 天井と床の間が、取付範囲の205~300cmであることを確認してください。

取付けかた

7 ①支柱-上の「細いパイプ」を「ユルム」の方向にまわしてから、天井までいっぱいにはばして天井面に押しつけながら「トマル」の方向にまわして、しっかりと固定します。

※支柱が倒れない程度に仮固定されているか確認してください。

8 「支柱」にねじれ・傾きがないことを確認し、⑥蝶ネジで①支柱-上の「細いパイプ」を確実に固定します。

※ネジ止めは少しかた目の設計ですので、強くまわし、確実にネジ止めしてください。

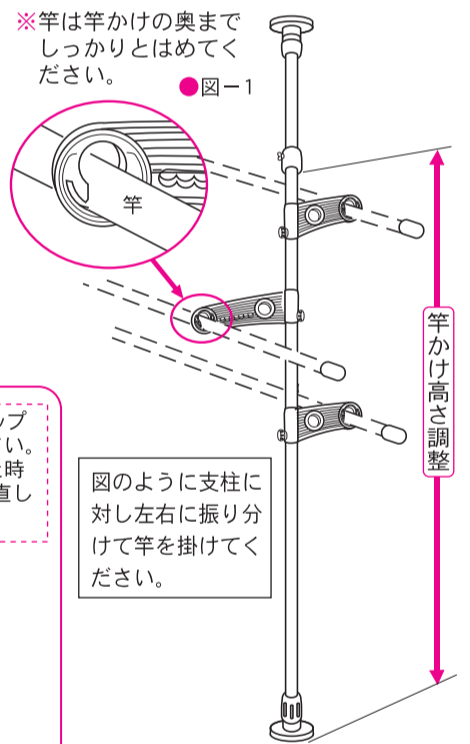
9 このままでは取付け強度が不十分ですので②支柱-下の「パイプ」が回転しない様に片手で「太いパイプ」を持って、片手で「圧着調整ネジ」を「強」の方向にまわし、パネの力で天井と床にしっかりと固定します。

※取付け強度が弱いと倒れる場合がありますので十分にご確認ください。

※圧着調整は、調整シールのストップ線までに行ってください。ストップ線をこえた時は、最初から取付け直してください。

10 最後に、取付け強度が十分か、「支柱」が前後・左右に傾いていないか確認し、「竿かけ」をしっかりと「丸ネジ」で固定し、ご使用ください。

〔完成図〕



※竿は竿かけの奥までしっかりとほめてください。 ●図-1

※「竿かけ」を上下に移動させる時は「丸ネジ」を確実にゆるめてから行ってください。

※圧着調整は、ストップ線までに行ってください。ストップ線をこえた時は最初から取付け直してください。

図のように支柱に対し左右に振り分けて竿を掛けてください。

〔ご使用に際してのお願い〕

- 竿をかけて左右の竿かけの高さが同じか確認してからご使用ください。高さが違うと片側へ竿がずれる恐れがあります。
- 竿かけは竿の落下を防止するため、少々固めの設計にしていますが、径が2.5~3cmの一般用竿であれば差し込み、固定することができます。(図-1)のように、竿は竿かけの下までしっかりと押し込んでご使用ください。

〔ステンレス製品のご使用に際してのお願い〕

- ステンレスは鉄にくらべ、サビにくい金属ですが使用条件や環境によってはサビを発生させることがあります。
- サビの原因は主に潮風に含まれている塩分、大気中に浮遊している鉄粉や有害ガスなどでこれらの異物が付着し、もらいサビをおこします。いつまでも美しくご使用いただくために時々、パイプを目で確かめ、早めに異物をおふきとりください。
- 手入れの方法
 - ①軽い汚れは水ぶきをしてください。
 - ②とれにくい場合は中性洗剤かベンジンなどでふいた後、よく水ぶきをしてください。
 - ③点状のサビがみられる時は、中性洗剤や目のこまかいキッチン用クレンザーなどを布につけて軽くこすりつけた後、よく水ぶきをしてください。

品質表示

本体……ステンレスパイプ
成型部品……ABS樹脂・ポリプロピレン樹脂/ゴム……EVA樹脂/パネ・ネジ類……スチール(メッキ)

お問い合わせ先

製品は厳正な品質管理を行っておりますが、万一不良品などがございましたらお手数ですが「お客さま相談室」までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

積水樹脂株式会社「お客さま相談室」0120-808032

(土、日、祝日は休日ですのでお問い合わせは平日(9:00~12:00・13:00~17:00)にお願い致します。)

積水樹脂株式会社

インターネット・ホームページ・アドレスナンバー
http://www.sekisuijushi.co.jp/(製品情報,生活製品内)
MADE IN CHINA

〔ご注意〕

●製品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。